

令和6年度大学・高専機能強化支援事業
（支援1：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）
事業概要

令和6年2月申請時点

1. 基本情報

大学名	中村学園大学	設置区分	私立
学校種	大学	都道府県	福岡
大学全体の総収容定員	3,080 名	※令和5年5月1日時点	
学部学科 組織構成	栄養科学部（栄養科学科、フード・マネジメント学科） 教育学部（児童幼児教育学科） 流通科学部（流通科学科）		
事業計画名	フードテック領域を含む食分野をけん引する高度専門人材育成事業		

2. 事業概要

世界の人口増加が進む中で環境負荷への配慮、タンパク源の確保、食品ロスの削減、適切な栄養摂取の推進が急務となっている。日本では高齢化や人口減による買い物困難者への対応、労働力不足等の社会問題が起きており、食を取り巻く課題は多岐に渡りながら複雑に絡みあい、<u>科学的なイノベーションに加えてフードシステム全体で対処することが求められている</u>。このような課題を解決し、食産業の発展に資する人材を育成するため、<u>栄養学・食品学的なアプローチによる「フードサイエンスの領域」、経営・流通・サービス等の「フードビジネスの領域」に、成長分野である「フードテックの領域」を融合した教育プログラムを構築すべく、令和10年度に(仮称)フード・マネジメント学部(入学定員120名、収容定員500名)の開設を計画する</u>。実施にあたり、自治体や団体と食産業界のバリューチェーンが揃う産学官で組織された「福岡食育健康都市づくり地域協議会」と連携する。

3. 本事業で新たに設置等を行う組織

改組予定年度	令和10年度					
認可申請・届出の別	認可申請					
改組内容	学部の新設					
設置等組織名	(仮称) フード・マネジメント学部					
設置等組織の学位分野	家政関係	農学関係	工学関係	-	-	-
当該学部等の所在地	福岡県福岡市					
入学定員	100 名					
収容定員	420 名					
入学定員の増加数	20 名					
他学部等の入学定員の減少数	40 名					

事業計画名 フードテック領域を含む食分野をけん引する高度専門人材育成事業					
基本情報					
改組予定年度	令和10年度	設置等組織名	(仮称)フード・マネジメント学部	入学定員増数(合計数)	20名
所在地	福岡県福岡市	改組内容	学部の新設	入学定員減数(合計数)	40名

フードシステム全体を通じた複合的な課題に対応できる人材を輩出し、『持続可能で健康な食』が実現された社会へ

＜社会や地域のニーズ・課題＞

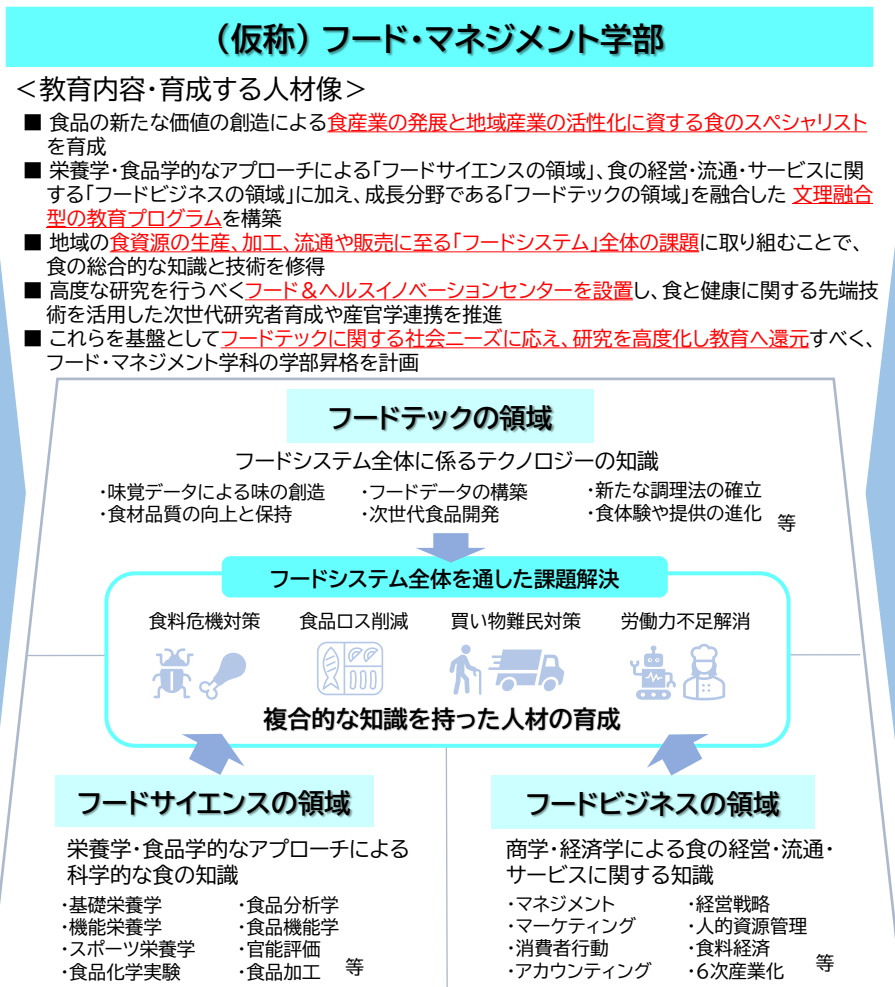
- ・世界の人口増加が進む中で環境負荷への配慮、タンパク源の確保、食品ロスの削減、適切な栄養摂取の推進が急務となっている。日本では高齢化および人口減による買い物困難者への対応や労働力不足といった社会問題が起きており、食を取り巻く課題は多岐に渡る。
- ・食に関する課題は複雑に絡みあい、科学的なイノベーションに加えてフードシステム全体で対処することが求められる。
- ・世界ではフードテックへの投資が伸び、食に関するカンファレンスやコミュニティが成長し、市場規模が急速に拡大している。（農林水産省統計：フードテックの市場規模が2020年では24兆円のところ、2050年には279兆円と10倍以上に）
- ・福岡における全国主要産地市場（漁港）取扱金額は4年連続で全国1位、中央卸売市場の青果物（野菜・果物）の卸売数量は全国4位等、福岡にとって食は重要な産業である。
- ・一方で、前述のような成長分野であるフードテックに関する知識を持ち合わせた人材は、理工系の学生割合が諸外国に比べて低い状況をもて十分といえず、今後の食産業界は食品技術、データ分析、持続可能性、デジタルマーケティングなどのスキルがさらに求められる。

＜多様な入学者の確保＞

- ・改組予定であるフード・マネジメント学科は、開設以来定員割れしたことがなく、フードテック領域を拡充することで、九州全域からの入学確保を計画
- ・食品・調理科を持つ地域の高等学校等と食をテーマにした探究活動を実施
- ・工業、商業、農業、生活、理数科等を有する高校への指定校推薦枠の拡大や理系科目を履修した者を対象とした制度の新設を検討
- ・複数の入試方式や入試科目による入学者選抜を計画
- ・併設高等学校との高大一貫教育体制を強化した安定的な学生確保



課題解決に向けた人材育成



産官での協議によるカリキュラム

＜設置学部等の概要・コンセプト・特徴など＞

- ・地元九州の食関連企業・団体による 産学官で組成された協議会との検討に基づいた教育プログラム
- ・改組予定のフード・マネジメント学科は、開設にあたり産学官連携コンソーシアムを組成の上、業界に求められるスキル等マーケットインの考え方で議論して教育プログラムを開設しており、本実績を活用する
- ・実務家教員による授業科目を配置し、PBL型授業を実施することで理論と実際を行き来させ、業界の最新動向や実践的なスキルを身につける
- ・食の科学的知識とテクノロジーの領域の融合による新技術を活用した新たな食品の価値創造
- ・フードテックによる革新が、社会的課題の解決や食に求める人々のニーズの多様化に対応する食ビジネスに波及する学び



＜連携を通じた教育体制の整備＞

自治体・団体に加え 食産業界の全てのバリューチェーン（研究開発、製造、卸、小売）が揃う産学官38団体で組織される「福岡食育健康都市づくり地域協議会」と連携し、プログラムの開発・実施、成果検証を行う。

